

国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における国内長期研修事業）
募集要項

平成30年6月15日
一般社団法人 中央酪農会議

1. 目的

環太平洋パートナーシップ（TPP（TPP11を含む。））及び日EU経済連携協定の発効を見据え、国産チーズの競争力を高めるとともに、その需要を確保し、我が国の酪農・乳業関係者が将来にわたって安定的に国産チーズの生産に取り組めるようにするためには、製造面での品質向上・ブランド化等の取組等を支援する必要がある。

このため、中央酪農会議では、国産乳製品等競争力強化対策事業の一環として、以下により、国産ナチュラルチーズの製造技術を習得するための国内チーズ工房での長期研修事業を実施し、もって畜産・酪農の国際競争力の強化に資するものとする。

2. 内容

国内のチーズ製造技術者が、自工房以外のチーズ工房において1ヶ月以上（休日含む）の長期研修を受ける場合の研修費等を予算の範囲内で助成する。

3. 対象となるチーズ製造技術者

日本国内でチーズの製造・販売を行っているチーズ工房の製造技術者等

4. 対象となる研修の期間

本事業の対象に出来る研修会は、1ヶ月以上の研修期間（平成30年9月1日以降に開始され、平成31年2月末までに終了する研修に限る）のものとする。

5. 助成対象経費と整備すべき証拠書類

助成対象経費	内容	助成率	整備すべき証拠書類
1. 交通費	○勤務先(チーズ工房等)と研修先との往復の交通費 ○中央酪農会議、旅費規程に基づく交通費	定額	○原則、必要なし ○ただし、航空機利用の場合は、航空券の領収書及び搭乗券(半券)
2. 宿泊費	研修期間中の宿泊費(実費)。研修期間中の研修休業日を含む。 ○11,000円/日を上限。	定額	領収書
3. 研修費	○研修期間中に研修先に支払った研修費	定額	領収書

注：消費税相当額は、助成金の対象外。

6. 補助対象とできる研修費について

補助対象とできる研修費（1ヶ月分の上限）は、以下により算定される金額のうち、最も少ない金額とする。

- (1) 研修先チーズ工房が定める研修費
 - (2) 2,400円×1ヶ月の間に実際に受けた研修時間
 - (3) 192,000円/月
- ※ いずれも税抜き

7. 本事業参加及び助成に当たっての事務手続き

(1) 参加申し込み及び助成対象者の決定

- ① 本事業の助成を検討する者は、別紙様式第1号の『国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における国内長期研修事業）事前照会』を中央酪農会議に提出し、支払われる交通費の金額等を確認する。
- ② 本事業による助成を希望する者は、①による事前照会を踏まえ、中央酪農会議会長が別に定める日までに別紙様式第2号の『国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における国内長期研修事業）参加申込書』に必要事項を記載し、中央酪農会議会長に提出する。
- ③ なお、助成希望者は、参加申込書の提出に当たって、予め研修先と連絡を取り、受け入れの内諾を受けていることを原則とするが、研修先が見つけれない場合、中央酪農会議に受け入れ可能チーズな工房の照会を行うことが出来る。
- ④ 中央酪農会議会長は、選考委員会において、予算の範囲内において、本事業の助成対象者を選定し、参加申込書の提出者に選考結果（可否及び助成対象経費の限度額）を通知する。

(2) 研修の実施及び日報等の作成

- ① 助成対象者は、選考結果の通知があった後、提出した参加申込書に基づく長期研修を実施する。
- ② 助成対象者は、研修に当たって、別紙様式第3号の『国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における国内長期研修事業）研修日報』を、また、研修終了後、別紙様式第4号の『国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における国内長期研修事業）成果報告書』を作成する。

(3) 実績の報告

助成対象者は、長期研修終了後、20日以内に別紙様式第5号の『国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における国内長期研修事業）実績報告書』

に（２）の日報及び成果報告書を添付し、中央酪農会議会長に提出する。

（４）助成金の支払い

中央酪農会議会長は、実績報告の提出があった後、適当と認められた場合、助成対象者に助成対象経費を支払う。

８．中央酪農会議での支援

中央酪農会議は、調査を行い、長期研修の受け入れ可能なチーズ工房等に関する情報を把握する。

９．研修中のチーズ工房業務等への従事について

（１）受け入れ先のチーズ工房は、研修期間中に当該チーズ工房の業務に研修者を従事させることが出来る（賃金支払い可）。

（２）ただし、業務への従事時間は研修時間と別に設けることとし、研修費の対象には出来ない。

１０．助成の返還等

中央酪農会議会長は、助成対象者が、研修を途中で取りやめた場合、また、虚偽の報告があったことが確認された場合等、助成額の一部又は全部を返還させることが出来る。

別紙様式第1号

国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における
国内長期研修事業）事前照会

平成 年 月 日

一般社団法人 中央酪農会議 御中

チーズ工房名 _____

平成30年度において、標記事業への参加を下記のとおり検討しているため、助成の対象となる交通費等について照会します。

記

1. 自チーズ工房の概要

(1) 所在地： _____

(2) 長期研修予定製造技術者氏名： _____

(3) この件に関する問い合わせ先
担当者氏名 _____

連絡先：TEL _____ FAX _____

E-mail _____

(2) 最寄駅等の名称（駅、バス停留所、空港等の名称）及び交通機関名

名称 _____ 交通機関の種類 _____ 交通機関の名称 _____

4. 予定している長期研修の概要

(1) 研修先工房名 _____

(2) 所在地： _____

(3) 最寄駅等の名称（駅、バス停留所、空港等の名称）及び交通機関名

名称 _____ 交通機関の種類 _____ 交通機関の名称 _____

(4) 研修期間

平成 年 月 日～平成 年 月 日

別紙様式第2号

国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における
国内長期研修事業）参加申込書

平成 年 月 日

一般社団法人 中央酪農会議
会長 中家 徹 殿

チーズ工房名 _____

代表者氏名 _____ (印)

平成30年度において、標記事業への参加をしたいので、下記のとおり申し込みます。

記

1. 自チーズ工房の概要

(1) 製造しているチーズの種類等

製造している チーズ名	種類（タイプ）	1個あたり大き さ (〇〇g等)	前年度製造量（概算） (〇個又は〇kg等)

注：必要に応じて行数を追加願います。

(2) 従業員数（パート等含む）

_____人

2. 長期研修先の概要

(1) 研修先工房名 _____

(2) 代表者氏名 _____

(3) 所在地： _____

(4) 製造しているチーズの種類 (全て記載)

2. 長期研修の計画

(1) 研修する予定のチーズの種類・動機・内容

種類_____

目的 (動機)

研修内容（研修により習得したい技術等）

研修後の予定（習得した技術の活用方法の予定）

--

(2) 研修期間等

平成 年 月 日～平成 年 月 日

《予定》

日曜日	時	分～	時	分 (時間)
月曜日	時	分～	時	分 (時間)
火曜日	時	分～	時	分 (時間)
水曜日	時	分～	時	分 (時間)
木曜日	時	分～	時	分 (時間)
金曜日	時	分～	時	分 (時間)
土曜日	時	分～	時	分 (時間)

※ 休日の曜日は、空欄。

(3) 研修を受ける製造技術者の概要

氏名 _____

年齢 _____ 歳 性別 _____ チーズ製造歴 _____ 年 _____ ヶ月

種類ごとのチーズ製造歴

種類	製造に携わった期間	携わっていたチーズ工房名
	年 _____ ヶ月	
	年 _____ ヶ月	
	年 _____ ヶ月	
	年 _____ ヶ月	

注 チーズ製造歴・種類ごとのチーズ製造歴は、現在の工房以外での期間のものがある場合、含めて記載。

注 必要に応じて、行数を追加願います。

(4) 研修期間中の宿泊先

名称： _____

住所： _____

TEL： _____

(5) 研修先との往復の交通手段（いずれかに○）

公共交通機関 ・ 自家用車 ・ その他（ _____ ）

(6) 事業費

	金額（総額・ 税抜） （円）	消費税等 相当額 （円）	日数 （日）	1日当り単 価(税抜) （円）	消費税等相 当額 （円）
1. 交通費					
2. 宿泊費					
3. 研修費					
合計					

注：日数の欄は、宿泊日は宿泊日数を、研修費は研修日数を記入。

別紙様式第3号

国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における
国内長期研修事業）研修日報

研修先チーズ工房名 _____

助成対象者チーズ工房名 _____

氏名 _____ (印)

月日	曜日	時間	指導者氏名	研修内容	研修先確認印
		～			
		～			
		～			
		～			
		～			
		～			
		～			
		～			

注 必要に応じて、行数を追加願います。

別紙様式第4号

国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における
国内長期研修事業）成果報告書

助成対象者チーズ工房名_____

氏名_____ (印)

1. 研修先工房名

2. 研修期間（実績）

平成 年 月 日～平成 年 月 日

2. 研修成果

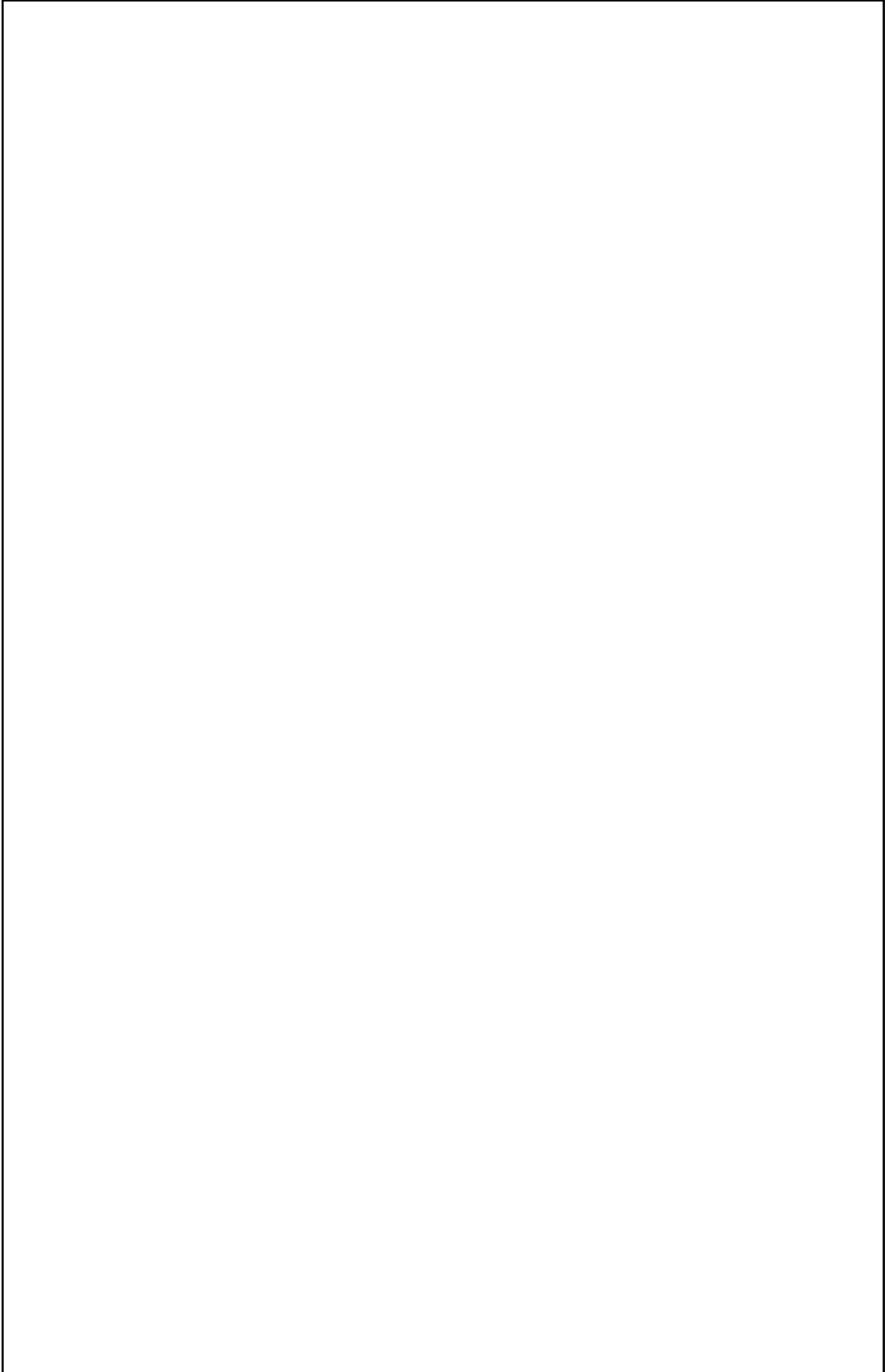
研修を受けたチーズの種類_____

目的（動機）

研修内容（研修により習得した技術等）の実績

--

研修後の予定（習得した技術の活用方法）

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for the user to write their post-training plan and how they will utilize the acquired skills.

別紙様式第5号

国産チーズ競争力強化支援対策事業（チーズ工房等における
国内長期研修事業）実績報告書

平成 年 月 日

一般社団法人 中央酪農会議
会長 中家 徹 殿

チーズ工房名 _____

代表者氏名 _____ (印)

平成30年度において、標記事業を実施したので、下記のとおり実績を報告するとともに、助成金 円の支払いを請求します。

記

1. 研修先工房名 _____
2. 研修期間（実績）
平成 年 月 日～平成 年 月 日
3. 研修を受けた製造技術者氏名 _____
4. 研修成果等
別紙様式第3号及び別紙様式第4号のとおり
5. 実績額

	金額（総額・ 税抜） （円）	消費税等 相当額 （円）	日数 （日）	1日当たり 単価(税抜) （円）	消費税等相 当額 （円）
1. 交通費					
2. 宿泊費					
3. 研修費					
合計	①				

注：日数の欄は、宿泊日は宿泊日数を、研修費は研修日数を記入。

6. 助成金請求額（5の①の額）
_____ 円

7. 助成金支払先口座名等

銀行名_____ 支店名_____

口座の種類（普通・当座等）_____

口座番号_____

口座名義人_____

8. 添付書類

(1) 別紙様式第3号及び別紙様式第4号

(2) 宿泊及び研修費に係る領収書

(3) 航空券半券及び航空費に係る領収書（航空機利用の場合のみ）